



8

がい数

名前

月 日

## 四捨五入

(基本)

1 次の表を見て、( )の中に入る数や言葉を書き入れましょう。

	人数
A地区の小学生	2013人
B地区の小学生	2894人

2つの地区の小学生の人数は、( )千と( )千の間の数になります。

このとき、小学生の人数をがい数で表すとき、( )の位の数の大きさに注目します。そして、それぞれの人数をがい数で表すと、A地区の小学生は、約( )人になり、B地区の小学生の人数は、約( )人になります。

このように、表したい位の数の1つ下の数字に注目して、その位の数が0~4までの数字であれば切り捨て、5~9までの数字であれば切り上げる方法を( )といいます。

2 次の㉠~㉣のなかで、百の位の数字が四捨五入されているものはどれでしょうか。

㉠ 2540 → 2000    ㉡ 1720 → 2000    ㉢ 1398 → 2000

答え ( )

名前

月 日



3 百の位の数字を四捨五入して、がい数で表しましょう。

① 1804

② 4215

答え( )

答え( )

③ 6467

④ 9643

答え( )

答え( )

4 四捨五入して、一万の位までのがい数で表しましょう。

① 81324

② 678345

答え( )

答え( )

③ 25432

④ 974002

答え( )

答え( )



名前

月 日

5 四捨五入して，上から1けたのがい数で表しましょう。

① 4747

② 72560

答え( )

答え( )

③ 8530

④ 3049035

答え( )

答え( )

6 四捨五入して，上から2けたのがい数で表しましょう。

① 483154

② 1071085

答え( )

答え( )

③ 29486

④ 9955

答え( )

答え( )



名前

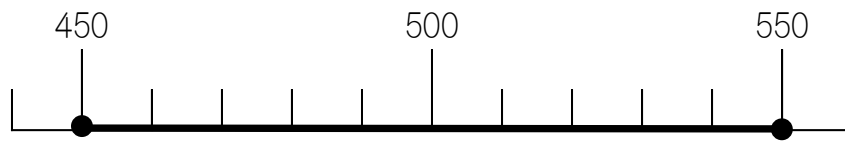
月 日



9

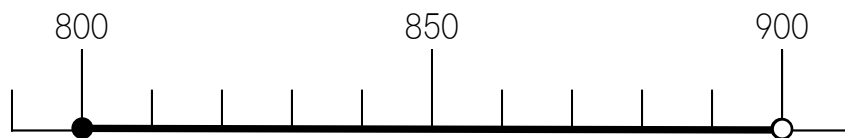
下の数直線のはんいを、以上、以下、未満を使って書きましょう。

①



答え ( )

②



答え ( )